

## 社員食堂を交流拠点に再定義「SAISON CAMPUS」始動！ ～イノベティブかつクリエイティブな働き方を促進～

株式会社クレディセゾン（本社：東京都豊島区、代表取締役(兼)社長執行役員 COO：水野 克己、以下：当社）は、中期経営ビジョンである「総合生活サービスグループ」の実現に向けて、カードビジネス等のオペレーション業務を行う東京・関西ユビキタスビルにおいて、従来の社員食堂を、「SAISON CAMPUS」としてリニューアルし、運営を開始しました。

「SAISON CAMPUS」は、有志の社員が所属部門の枠を越えてプロジェクトを立ち上げ、社員アンケートの声を元に人と人がつながる新しい交流拠点を自分たちで考え、リニューアルの企画・運営を主導しています。食事をするだけの社員食堂から、社員同士が自然に集まり、出会いが新たに生まれるコミュニケーション空間へ生まれ変わることでイノベティブかつクリエイティブな働き方を促進していきます。



### 1. 「SAISON CAMPUS」のコンセプト

クレディセゾンの新しい交流拠点として、4つのコンセプトを掲げています。

- ① 社員がつながる**  
社員同士がいつでもリラックスして対話できるクレディセゾンの新しいランドマークに。リアル×バーチャルが融合したコミュニケーションを実現し、離れた拠点とオンラインでつながる環境を整備。
- ② 仕事につなげる**  
雑談コミュニケーションを推進することで、新しい発想を生み出すアイデアの発掘拠点をめざす。オリジナル社内イベントを開催し、企業マインドを醸成。
- ③ つながる食**  
地元食材の販売もしながら、こだわった食材で健康志向の味を追求する。フードロスに配慮し、フードドライブ※も行うことで、地域社会にも食を通じて貢献。
- ④ 再生につながる**  
不用品の回収やリサイクル活用を行い、サステナブルな社会をサポート。

※フードドライブ：家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらを取りまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動

## 2. 使い方にあわせた3つのエリア

従来の社員食堂を、食事をするダイニングエリア、食事と仕事をするワークエリア、休憩をするリラックスエリアの3つにわけ、働く社員の気持ちにメリハリを、そして心身の健康をサポートします。

### ① ダイニングエリア（食事）

人が集まりやすいハイカウンター、ベンチを設置。様々な目的で利用する人たちに「偶然の出会い」が生まれやすく、交流しやすい配置に。



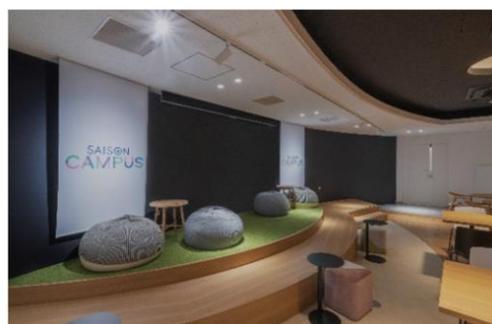
### ② ワークエリア（食事＋ワーク）

1on1 などのカジュアルな面談をはじめ、プレゼンテーションやグループミーティングを行うスペースも新設。社内イベント会場としての必要設備も配備し、企業の一体感を生み出せる機会を提供。



### ③ リラックスエリア（休憩）

イベントステージを兼ねた小上がりスペースでは、靴を脱ぎ、リラックスして、仲間と集い美味しい食事や休憩ができる空間に。



今後も、社員一人ひとりの主体的な価値創造の実現に向けて、社員のエンゲージメント向上と、グループ企業やお取引先様との新たなシナジーを生み出す場に進化させてまいります。